別紙2

事業所名：ほっとファミリーぞうの目２

作成日：平成29年11月9日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	事業所の説明不足により、看取りに対する家族の理解がまだまだ不十分。	家族に理解を深めてもらい、支援および協力体制の確保をして、円滑に看取りを行える。	家族と対話し充分な説明をする。緊急連絡先や延命措置の有無、葬儀屋の手配など、事前に取り決めを行う。	6ヶ月
2	13	職員の理解不足により、不適切な対応や声掛けで利用者が不穏になってしまう。	全職員が認知症を理解し、同水準の対応ができる。	職員同士で気になった行動を注意しあえるようにする。注意された職員は自分の対応を振り返り、次に活かせるようにする。	6ヶ月
3	48	業務中心になってしまい、利用者とのコミュニケーションが疎かになってしまう日がある。	利用者を中心に、明るく楽しい日々を過すことができる。	利用者とのコミュニケーションを常に意識し、一人の時間をできるだけつくらないようにする。時間を効率的に使い、業務に支障のないように工夫する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。